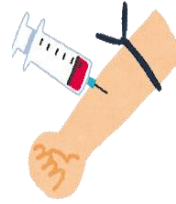




発行元
西村クリニック
四條畷市楠公 1-14-6
072-862-3001

来院時にはマスクの着用と
アルコールでの手指の消毒をお願いしております
また各所を随時アルコールにて消毒し終始換気しております

血液一滴で「がん」が判定できる。そんな画期的な検査が可能となりつつあります。従来より血液検査である程度「がん」が判定できておりました。いわゆる腫瘍マーカーなるものがそうで、例えばPSAなどは臓器特異性が、前立腺癌のスクリーニングとして広く使われておりますが、消化器の系統、例えば大腸癌のスクリーニングにはCEAやCA19-9などの腫瘍マーカーよりも便潜血反応を調べる方が有用であります。それに腫瘍マーカー自体かなりの数があり、今自分が「がん」に罹患しているかどうかを調べたいという時に腫瘍マーカーを全て調べるといのは余り賢い方法ではありませんでした。



という訳で最近では腫瘍マーカー以外に血液で「がん」を調べる方法が色々と模索されてきております。現在保険適用はされておきませんが
実用化されている方式にアミノインデックスというものがあ
ります。この方法は血液中のアミノ酸濃度バランスを解析する事によ
って現在「がん」であるリスクをランクA、B、Cの三段階に分けて
判定しようというのでもあります。即ちランクAと判定されれば有
病率0.03%、0.07%、逆にランクCと判定されれば有病率
0.40%、1.16%というものでこの対象となる「がん」は肺
癌、胃癌、大腸癌、乳癌、子宮癌などとなっております。

一方最近東芝が開発して実用化を目指しているものに、わずか一
滴の血液から大腸癌などの十三種類の「がん」を検出できる検査キ
ット、それも二時間以内に九十九%の精度で初期のステージ0でも
「がん」を判定できるといふ画期的な方法で、対象としては肺癌、
胃癌、大腸癌、肝臓癌、乳癌など十三種類であり、今後数年以内に
人間ドッグなどで二万円以内の費用で検査できるのを目指している
様であります。とは言ってもいくら「がん」の検出方法が確立され
たとしても「がん」にならないにこした事はありません。

私が今まで何度でも言っている様に、癌細胞をやっつけるNK細胞を活性化すべく、免疫力を高める様な生活習慣を送っていくのが一番大切な事だと言えるでしょう。

院長 西村 章

マスクと同様にアルコール消毒も出回ってきました。アルコール消毒の成分には注意が必要です。アルコール消毒の成分にはエタノールと表示されています。エタノールの殺菌効果は40%あたりから急激に現れ繰り返しの使用によって殺菌力が認められます。1~8%では殺菌力を示しません。反対にエタノール濃度が100%に近いものは消毒、殺菌効果はもちろんありますが、揮発性が高いのでウイルスを除菌する前に蒸発する可能性があります。新型コロナウイルスに対してはアルコール消毒70%（エタノール濃度70~80%）の表示がある物が効果があり新型コロナウイルスも感染力を失くします。たくさんの商品が出回っていますが吟味し適切なエタノール濃度の商品を購入したいものです。（詳しくは厚生労働省のHPをご確認ください）

今年は台風が多いとテレビで案内がありました。自粛解除になり外出しやすくなりましたがここで台風への備えもしておくのはいかがでしょうか？台風への備え
1：強風に備える対策 備え2：停電に備える対策 備え3：ガス停止、水道利用不可に備える対策があります。先月掃除をたくさんしました。今月は台風への備え準備をしませんか？

自粛が続きいつもより食べ過ぎて胃腸が疲れて口内炎や口角炎、湿疹やかゆみなどの肌荒れ、舌苔が増えていませんか？この状態を『痰湿』がたまりやすい状態と言います。キャベツは、『痰湿』を取り除く代表的な食材です。胃腸の粘膜の再生や胃潰瘍にも役立つビタミンU、腸内環境を整える食物繊維、炎症を抑えるイソチオシアネートやビタミンCなどの栄養素を含みます。昆布も『痰湿』を取り除く食材です。昆布には、腸壁の保護に役立つアルギン酸やフコイダンなどの食物繊維が豊富に含まれ、とろろ昆布や塩昆布などは普段の料理に取り入れやすいです。ドレッシングをかけずキャベツと塩昆布を混ぜるだけの簡単な料理で疲れた胃腸を休めて体調を整えましょう。

編集後記

生後1ヶ月半の黒猫の兄弟に里親さんが決まりました
仔猫のを探す母猫の鳴き声には複雑な思いがありますが
母猫は数時間で現実を受け止める能力があるようです
まだ1歳ほどの母猫の里親募集を始めます